

# 今週の文法練習問題

きのただいすけ

国立中央大学天文研究所

2022 年 10 月 19 日

# 問題 1

- 意味の違いを説明しなさい。
  - ① 残す
  - ② 残る
- 「残す」を使った文を作りなさい。
- 「残る」を使った文を作りなさい。

## 問題 2

- 意味の違いを説明しなさい。
  - ① 運ぶ
  - ② 運べる
- 「運ぶ」を使った文を作りなさい。
- 「運べる」を使った文を作りなさい。

## 問題 3

- 意味の違いを説明しなさい。
  - ① 動く
  - ② 動かす
- 「動く」を使った文を作りなさい。
- 「動かす」を使った文を作りなさい。

## 問題 4

- 「…れば…」を使って文を作りなさい。
  - 記事のなかで出てきた文: 「北極航路が開通すれば、アジア～ヨーロッパ間の航路が短縮され、燃費が下がる。」

## 問題 5

- 「…しか…ない…」を使って文を作りなさい。
  - 記事のなかで出てきた文: 「反応させた後には水しかできないので、温室効果ガスの排出をおさえらが下がる。」

## 問題 6

- 「…でも…ない…」を使って文を作りなさい。
  - 記事のなかで出てきた文: 「水素と窒素でできているアンモニアは燃やしても二酸化炭素などの温室効果ガスが発生しない。」

# 問題 7

- 「…つつ…」を使って文を作りなさい。
  - 記事のなかで出てきた文: 「地球温暖化が深刻な問題となる中で、人類は経済発展をめざしつつも地球環境を守るという難題への挑戦をせまられている。」



## 問題 8

- 「…なくてはならない…」を使って文を作りなさい。
  - 記事のなかで出てきた文: 「海をこえてたくさんのものを運ぶことのできる船は、現代社会にはなくてはならない存在になっている。」

## 問題 9

- 「…ながら…」を使って文を作りなさい。
  - 記事のなかで出てきた文: 「自動車はタイヤで車体を支えながら前に進むため、船にくらべるとエネルギー効率は落ちる。」

## 問題 10

- 「…やすい…」を使って文を作りなさい。
  - 記事のなかで出てきた文: 「しかも、自動車や航空機よりも大型化しやすいので、大量の荷物を一度に運ぶのに適している。」
  - 記事のなかで出てきた文: 「海上を航行する船は、太陽、風、波など、さまざまな自然のエネルギーを利用しやすい。」

# 問題 11

- 「…にくい…」を使って文を作りなさい。
  - 記事のなかで出てきた文: 「主船体の両側に副船体を配置する三胴船は、副船体が主船体を支える形になるので横ゆれの周期が長くなり、ゆれを感じにくい。」
  - 記事のなかで出てきた文: 「アンモニアは燃えにくい性質をもっているが、近年、有害物質の窒素酸化物の排出をおさえ、直接燃焼させる技術の研究がさかんだ。」

## 問題 12

- 「…よりも…」を使って文を作りなさい。
  - 記事のなかで出てきた文: 「荷物あたりの重さでくらべた場合、船はほかの輸送手段よりも温室効果ガスの排出量が少ない。」

# 問題 13

- 動詞「集める」を活用させなさい。

- 語幹: \_\_\_\_\_
- 未然形: \_\_\_\_\_ ない
- 連用形: \_\_\_\_\_ ます / \_\_\_\_\_ た
- 終止形: \_\_\_\_\_
- 連体形: \_\_\_\_\_ とき
- 仮定形: \_\_\_\_\_ ば
- 命令形: \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_